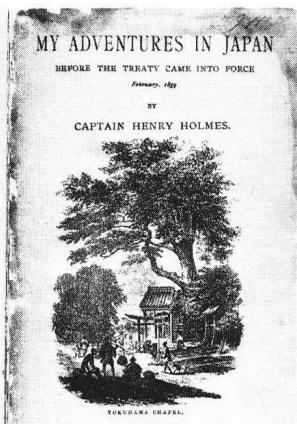


写真1  
ホームズ船長の著書  
(1904年刊)

当館所蔵,  
ブルーム・コレクション



Name of Vessel.	Date of Entry.
Carthage	July 2...
Countess of Seafield	" 5...
Nora	" 13...
Loch Lomond	" 17...
Koh-i-noor	" 24...
Trous	" 26...

写真2  
貿易報告の一部  
当館収集文書

# 開港のひろば

NEWS YOKOHAMA ARCHIVES OF HISTORY

●編集・発行／横浜開港資料館  
横浜市中区日本大通3  
電話 045(201)2100  
元231 企画室

●発行日／昭和59年11月1日  
●印刷／(有)三信印刷所

収蔵資料の紹介

## ホームズ船長は一番船か

ここ数年、幕末開港期にたいする関心が高まり、今まで必ずしも明らかでなかつた横浜居留地の動向や外国商館の活動にも注意がはらわれてきている。その意味で、当館が所蔵する英米両国の「議会資料」は、子細にみていくと興味がつきない。

一八五九(安政六)年七月に横浜が開港される以前、つまり同年二月にイギリスの代表的商社であるジャーディン・マセソン商会は長崎にやつてきて、日本での生糸貿易が有望であることを確認していた。その見通しをもつて、ジャーディン・マセソン商会が横浜に乗りこんできた、という事実はさきごろ石井寛治氏によつて証明されたばかりである(『横浜市史』補巻、一九八二年)。

この事実は、ケムブリッジ大学所蔵のジャーディン・マセソン商会文書を使つてさりげなく指摘されたが、従来の幕末貿易史研究にとって画期的であった。

ところで横浜開港前に、ジャーディン・マセソン商会の人びと、マッケンジーとW・ケスイックを長崎に乗せてやつてきたのは、ホームズ船長の帆船トロアス号である。この時の模様を、ホームズ船長はのちに書物にした。それが写

真1にある、「ホームズ船長の日本冒險記」である(当館所蔲)。これによれば、トロアス号の船長ホームズはジャーディン・マセソン商会上海店のウイツタルに呼ばれ、日本行きを打ちあけられ、二月九日に長崎へ到着している。長崎に四四日間滞在した記述はたいへん貴重であるが、問題は開港後の横浜についてである。

彼は七月一日、ふたたび上海で日本行きを命ぜられるが、文脈から判断してジャーディン・マセソン商会からの傭船依頼、つまり同商会のチャーター船になつたのである。それも、開港後の横浜に向けてであった。

ホームズ船長は、いつ横浜に到着したかについて記述していないが例外的に、横浜で開港後に入港した「はじめてのイギリス商船である」と位置づけている。問題の箇所である。

はたして、ホームズ船長のトロ

アス号は、横浜入港の第一着船であつたのであるうか。

この点について、さきに紹介したイギリス議会資料の、とくにブルー・ブックといわれる「貿易報告」をみてみると、トロアス号は第六着船である(写真2)。七月二十六日、入港した。いっぽう、長崎に滞在していたケスイックが帆船ノラ号に乗船して、横浜に着くのは七月十三日、第三着として登録された。これがイギリス領事の公式記録であるから、信じたい。だが、一抹の不安はある。ホームズ船長の言葉は、断定的であるからずも、いま力強い証言に出会うことになった。ジャーディン・マセソン商会文書が数点、ケムブリッジから当館にとどき、一八五九年七月二一日付の書簡は、やがて「トロアス号」が来航するだろう、と語っている。

このようにみてくると、公式記録ばかりでなく、私的文章である外國商館文書の収集作業は、重要な教育文化ホール・入場無料・五百名お問い合わせは、(財)横浜開港資料普及協会(二〇一)二二〇〇まで

秋季特別講演会のお知らせ  
安西篤子「私と横浜」  
会田雄次「未来社会と日本人」  
(内)

十一月十日(土)午後一時半から、  
教育文化ホール・入場無料・五百名  
お問い合わせは、(財)横浜開港資料  
普及協会(二〇一)二二〇〇まで

# 館長 対談

## 石井寛治氏をゲストに

今回は、イギリスでジャーディン・マセソン商会の資料を調査され、『近代日本とイギリス資本』（東京大学出版会刊）の大著にまとめられた石井寛治氏（東京大学教授）をお招きしました。



遠山館長

変時間がかかってしまいました。  
館長 ケムブリッジ大学にあるジ

の人からいつになつたら終るのか  
と何回かいわれました。  
今までの研究は、皆さん大体書

あとづけることができたわけです。  
館長 しかし、筆写するというの  
は大変な労力ですね。手紙なん  
かはなかなか読めませんからね、  
リアルにすぐわかるということな  
んでしょう。帳簿というのは、ど  
ういうつけ方をしているのかとい  
うことが理解できませんと読めま  
せんし、なかなか使いこなせない  
ということがあつたんだと思いま  
す。それに、写真をとらせてくれ  
ないものですから、筆写するのに  
時間がかかるということもあつて、  
今まで帳簿類は使われてこなかつ  
たのだと思います。

日本に関する資料についていえ  
ば、目録には幕末の資料があまり  
なかったのですが、途中でパンブ  
リンさんという担当の方といろい  
ろ話をしているうちに、こちらの  
やつていることがわかつてもらえ  
て、実はまだ整理していらない資料  
があるといって出してきてくれま  
した。横浜の店がまだ帳簿をつけ  
る時期に至らない時の、毎月の報  
告を香港の本店に送っているもの  
がたくさんでてきて、それを全部  
だしてもらって合わせてみると、  
ふたつを組み合わせると、どうい  
う取引をしていたのかが全部わか  
るようになつていてるわけです。帳  
簿は非常に大きくて、皮製の立派  
な表紙のついたもので、それを書  
庫から何冊も出してもらうのです  
けれど、重たいものですから、係

館長 開港資料館では、この一

月三日から「外国商館と横浜」展  
を開催する予定で準備を進めてい  
るわけですが、展示の中心はジャ  
ーディン・マセソン商会——「英一  
番館」の名で横浜市民にも知られ  
ていますが——の資料になつてお  
ります。石井さんは、イギリスで同  
商会の資料をお調べになられた。

石井 ジャーディン・マセソン商  
会は、永らく香港に本店を置いて  
きたイギリスの大商社として、横  
浜開港時に最初に乗りこんできた  
外国商社のひとつです。

開港時には大きな商社が目立ち  
ますが、何の設備も整っていない

当時は、船を持つていなければ  
いけない、まだ銀行がありません  
で現金をもつてこなければいけな  
いというわけで、そういう条件

を備えている大商社しか活動がで  
きなかつた。それがだんだん、船  
会社が航路を開いたり、外国銀行

が支店を置くようになつてきます  
と、それらを利用する中小の商人  
たちが活動できるようになつてき  
て、ジャーディン・マセソン商会

のような大きな商社は、独占的な仕  
事ができなくなつてくる。その時  
期がおよそ一八六六年の恐慌前後  
だと思いますが、そこから大

分様子がかわってきます。ですか  
ら、幕末の横浜貿易をみる場合に  
は、まずこういった大きな商社を

調べなければならないわけです。

それから、もうひとつは、今ま  
での研究に不満がありまして、イ  
ギリス人でも、アメリカ人の学者  
でも、帳簿類はほとんど使つては  
いませんね。私にいわせますと、

やはり帳簿がより客観的な数値を  
示す資料ですから、まずそこを押  
えなければいけない、何とか帳簿  
を読まなければいけないと思いま  
した。しかし、決算帳簿が残つて  
います。だから、まずそこを押

おりませんので、一番基礎にな  
っている帳簿から全体を再構成する  
作業をやらざるをえませんで、大

が支店を置くようになつてきます  
と、それらを利用する中小の商人  
たちが活動できるようになつてき  
て、ジャーディン・マセソン商会  
のよう大きな商社は、独占的な仕  
事ができなくなつてくる。その時  
期がおよそ一八六六年の恐慌前後  
だと思いますが、そこから大  
分様子がかわってきます。ですか  
ら、幕末の横浜貿易をみる場合に  
は、まずこういった大きな商社を

調べなければならないわけです。

それから、もうひとつは、今ま  
での研究に不満がありまして、イ  
ギリス人でも、アメリカ人の学者  
でも、帳簿類はほとんど使つては  
いませんね。私にいわせますと、

やはり帳簿がより客観的な数値を  
示す資料ですから、まずそこを押  
えなければいけない、何とか帳簿  
を読まなければいけないと思いま  
した。しかし、決算帳簿が残つて  
います。だから、まずそこを押

おりませんので、一番基礎にな  
っている帳簿から全体を再構成する  
作業をやらざるをえませんで、大

が支店を置くようになつてきます  
と、それらを利用する中小の商人  
たちが活動できるようになつてき  
て、ジャーディン・マセソン商会

のよう大きな商社は、独占的な仕  
事ができなくなつてくる。その時  
期がおよそ一八六六年の恐慌前後  
だと思いますが、そこから大

分様子がかわってきます。ですか  
ら、幕末の横浜貿易をみる場合に  
は、まずこういった大きな商社を

調べなければならないわけです。

石井 ジャーディン・マセソン商  
会は、永らく香港に本店を置いて  
きたイギリスの大商社として、横  
浜開港時に最初に乗りこんできた  
外国商社のひとつです。

開港時には大きな商社が目立ち  
ますが、何の設備も整っていない

当時は、船を持つていなければ  
いけない、まだ銀行がありません  
で現金をもつてこなければいけな  
いというわけで、そういう条件

を備えている大商社しか活動がで  
きなかつた。それがだんだん、船  
会社が航路を開いたり、外国銀行

が支店を置くようになつてきます  
と、それらを利用する中小の商人  
たちが活動できるようになつてき  
て、ジャーディン・マセソン商会

のよう大きな商社は、独占的な仕  
事ができなくなつてくる。その時  
期がおよそ一八六六年の恐慌前後  
だと思いますが、そこから大

分様子がかわってきます。ですか  
ら、幕末の横浜貿易をみる場合に  
は、まずこういった大きな商社を

調べなければならないわけです。

それから、もうひとつは、今ま  
での研究に不満がありまして、イ  
ギリス人でも、アメリカ人の学者  
でも、帳簿類はほとんど使つては  
いませんね。私にいわせますと、

やはり帳簿がより客観的な数値を  
示す資料ですから、まずそこを押  
えなければいけない、何とか帳簿  
を読まなければいけないと思いま  
した。しかし、決算帳簿が残つて  
います。だから、まずそこを押

おりませんので、一番基礎にな  
っている帳簿から全体を再構成する  
作業をやらざるをえませんで、大

の人からいつになつたら終るのか  
と何回かいわれました。  
今までの研究は、皆さん大体書

かはなかなか読めませんからね、  
リアルにすぐわかるということな  
んでしょう。帳簿というのは、ど  
ういうつけ方をしているのかとい  
うことが理解できませんと読めま  
せんし、なかなか使いこなせない  
ということがあつたんだと思いま  
す。それに、写真をとらせてくれ  
ないものですから、筆写するのに  
時間がかかるということもあつて、  
今まで帳簿類は使われてこなかつ  
たのだと思います。

日本に関する資料についていえ  
ば、目録には幕末の資料があまり  
なかったのですが、途中でパンブ  
リンさんという担当の方といろい  
ろ話をしているうちに、こちらの  
やつていることがわかつてもらえ  
て、実はまだ整理していない資料  
があるといって出してきてくれま  
した。横浜の店がまだ帳簿をつけ  
る時期に至らない時の、毎月の報  
告を香港の本店に送っているもの  
がたくさんでてきて、それを全部  
だしてもらって合わせてみると、  
ふたつを組み合わせると、どうい  
う取引をしていたのかが全部わか  
るようになつているわけです。帳  
簿は非常に大きくて、皮製の立派  
な表紙のついたもので、それを書  
庫から何冊も出してもらうのです  
けれど、重たいものですから、係

あとづけることができたわけです。  
館長 しかし、筆写するというの  
は大変な労力ですね。手紙なん  
かはなかなか読めませんからね、  
リアルにすぐわかるということな  
んでしょう。帳簿というのは、ど  
ういうつけ方をしているのかとい  
うことが理解できませんと読めま  
せんし、なかなか使いこなせない  
ということがあつたんだと思いま  
す。それに、写真をとらせてくれ  
ないものですから、筆写するのに  
時間がかかるということもあつて、  
今まで帳簿類は使われてこなかつ  
たのだと思います。

日本に関する資料についていえ  
ば、目録には幕末の資料があまり  
なかったのですが、途中でパンブ  
リンさんという担当の方といろい  
ろ話をしているうちに、こちらの  
やつていることがわかつてもらえ  
て、実はまだ整理していない資料  
があるといって出してきてくれま  
した。横浜の店がまだ帳簿をつけ  
る時期に至らない時の、毎月の報  
告を香港の本店に送っているもの  
がたくさんでてきて、それを全部  
だしてもらって合わせてみると、  
ふたつを組み合わせると、どうい  
う取引をしていたのかが全部わか  
るようになつているわけです。帳  
簿は非常に大きくて、皮製の立派  
な表紙のついたもので、それを書  
庫から何冊も出してもらうのです  
けれど、重たいものですから、係

日本に関する資料についていえ  
ば、目録には幕末の資料があまり  
なかったのですが、途中でパンブ  
リンさんという担当の方といろい  
ろ話をしているうちに、こちらの  
やつていることがわかつてもらえ  
て、実はまだ整理していない資料  
があるといって出してきてくれま  
した。横浜の店がまだ帳簿をつけ  
る時期に至らない時の、毎月の報  
告を香港の本店に送っているもの  
がたくさんでてきて、それを全部  
だしてもらって合わせてみると、  
ふたつを組み合わせると、どうい  
う取引をしていたのかが全部わか  
るようになつているわけです。帳  
簿は非常に大きくて、皮製の立派  
な表紙のついたもので、それを書  
庫から何冊も出してもらうのです  
けれど、重たいものですから、係

あとづけることができたわけです。  
館長 しかし、筆写するというの  
は大変な労力ですね。手紙なん  
かはなかなか読めませんからね、  
リアルにすぐわかるということな  
んでしょう。帳簿というのは、ど  
ういうつけ方をしているのかとい  
うことが理解できませんと読めま  
せんし、なかなか使いこなせない  
ということがあつたんだと思いま  
す。それに、写真をとらせてくれ  
ないものですから、筆写するのに  
時間がかかるということもあつて、  
今まで帳簿類は使われてこなかつ  
たのだと思います。

日本に関する資料についていえ  
ば、目録には幕末の資料があまり  
なかったのですが、途中でパンブ  
リンさんという担当の方といろい  
ろ話をしているうちに、こちらの  
やつていることがわかつてもらえ  
て、実はまだ整理していない資料  
があるといって出してきてくれま  
した。横浜の店がまだ帳簿をつけ  
る時期に至らない時の、毎月の報  
告を香港の本店に送っているもの  
がたくさんでてきて、それを全部  
だしてもらって合わせてみると、  
ふたつを組み合わせると、どうい  
う取引をしていたのかが全部わか  
るようになつているわけです。帳  
簿は非常に大きくて、皮製の立派  
な表紙のついたもので、それを書  
庫から何冊も出してもらうのです  
けれど、重たいものですから、係

日本に関する資料についていえ  
ば、目録には幕末の資料があまり  
なかったのですが、途中でパンブ  
リンさんという担当の方といろい  
ろ話をしているうちに、こちらの  
やつていることがわかつてもらえ  
て、実はまだ整理していない資料  
があるといって出してきてくれま  
した。横浜の店がまだ帳簿をつけ  
る時期に至らない時の、毎月の報  
告を香港の本店に送っているもの  
がたくさんでてきて、それを全部  
だしてもらって合わせてみると、  
ふたつを組み合わせると、どうい  
う取引をしていたのかが全部わか  
るようになつているわけです。帳  
簿は非常に大きくて、皮製の立派  
な表紙のついたもので、それを書  
庫から何冊も出してもらうのです  
けれど、重たいものですから、係

になつてゐたようです。

帳簿は非常に厳密につけてあります。まして、二、三ヵ月してからたつた数セント計算違いをしていました

いうことで訂正の数字が入つてゐるくらいで、帳簿に記されている限りにおいては計算がきちんと合つようになつています。ですから、

それを分析していけば、客観的事実がそれなりに解明できるということだと思います。もつとも、こんな作つた本の第三章で明らかに

したように、商会の重要な活動であります。ながら帳簿に記されていない場合もありますので、注意しなければなりませんが。

**館長** ジャーディン・マセソン商會に関係した人たちのなかにはどう

なりたてのときには、ウイリアム・ケスイックという人が、まだパートナー（出資者兼経営者）に

石井 初期の横浜には、ウイリアム・ケスイックという人が、まだ

横浜の店が焼けてその後はどうす

るかということが問題になりました。その時に横浜に来たのがエドワード・ウイッタルで、この人もパートナーなんですね。パートナ



石井 寛治氏

もともとは福井藩の人で、のち長崎で活動し、グラバーと知り合い、そこからジャーディン・マセソン商会との付合いが始まったのではないかと想像しています。明治の最初

期といつていいかと思います。

横浜の場合、中国人のコンプラ

ドール（買弁）をつれてきてはいるのですけれども、資料をみてみると、むしろケスイックやウイツタルが実際に主な仕事をやっていて、コンプライアードルに仕事をほとんど全部あずけるといった中國でのやり方はとつてないよう

です。使用人のひとりだったということを感じですね。それから、日本人ももちろん使っておりますが、そのなかで面白いなと思ったのは吉田健三さんという方で、日本人としては珍しく明治の初期に高い地位を与えられています。明治五年から五〇ドルの月給として、外国人と同等程度の月給を与えられた人

はそういうませんでしたね。

**館長** 吉田健三は、戦後総理大臣

となりたてのときに来ておりまして、この人は二年程で帰つてしまいま

すが、一八六六（慶應二）年に、

ジャーディン・マセソン商会で働く

石井 よくわからぬのですが、

ジャーディン・マセソン商会で働

くなりたてのときには、ウイリアム・ケスイックという人が、まだ

横浜の店が焼けてその後はどうす

るかということが問題になりました。その時に横浜に来たのがエド

ワード・ウイッタルで、この人も

パートナーなんですね。パートナ

初めには横浜の店にきていて、同時に自分の仕事をジャーディン・マセソン商会から金を借りてやりはじめています。

**館長** ジャーディン・マセソン商會と最も取引の盛んだった横浜の商人に関してはいかがでしょうか。

石井 ジャーディン・マセソン商会の取引額は大きいですから、主な有力商人とは皆な取引しているといつてもいいのです。ですから、逆にジャーディン・マセソン商会をみていくと、当時の横浜でどんな日本商人が活躍していたかがわかる五〇ドルの月給として、外国人と同等程度の月給を与えた人

はそういうませんでしたね。

**館長** 吉田茂の養父ということとなつた吉田茂の養父ということでは有名ですが、どのような経路で

ジャーディン・マセソン商会で働く

ことになつたのでしょうか。

石井 よくわからぬのですが、

ジャーディン・マセソン商会で働く

ことになつた吉田茂の養父ということでは有名ですが、どのような経路で

ジャーディン・マセソン商会で働く

ことになつた吉田茂の養父ということでは有名ですが、どのような経路で

ジャーディン・マセソン商会で働く

ことになつた吉田茂の養父のこと

そのあたりの資料はいかがですか。

石井 あの時イギリスに渡つた長州藩の井上馨や伊藤博文などのことは、現在のジャーディン・マセ

ソン商会の人たちは大事なこととして社史などにも書かれていますが、これは秘密にやつたことですから、横浜店の書簡などにはできません。資料いろいろでてくるのは、薩摩藩との関係のほうでして、薩摩藩士がひそかにイギリスへ留学

した時は、グラバー商会がジャーディン・マセソン商会の長崎代理店として間に入つていて、そこからラライル・ホームという人が五代友厚らに同行しており、ロンドンではマセソン商会が資金面などの面倒をみてることを資料で裏付けることができます。

幕末の政治史では、外商といえども、グラバーばかりが目立つていま

すが、グラバーは実はそれ程大きな商人ではなくて、グラバーが薩

摩藩などに便宜を計つてやること

ができた背後には、ジャーディン・マセソン商会があり、そのうしろ

にはさらにロンドンのマセソン商

会があるわけで、グラバーはそう

いうバックがあるから、いろいろな活動ができたのだと思いますね。

長崎貿易についてといえば、生糸

がありましたが、貿易の中味は、横浜のよ

うに幕府の統制がある程度さくところと違つて、密貿易もやつてい

のあの時期では武器の取引などがありますから、ジャーディン・マセ

ソン商会でも長崎貿易は大事にしていますね。

**館長** ところでジャーディン・マセソン商会の日本での取引は、中国を含めてジャーディン・マセソ

ン商会全体のなかでどの程度の比重だつたのでしょうか。やはり、维新期には大きいですか。

石井 開港当初と明治初年にはとくに大きかつたと思いますね。取引額のウェイトからいと、全体で一〇〇〇万ドル位だとすると日本は一〇〇万ドル程ですから、十

分の一ですが、生糸貿易を始めた時ですとか、諸藩に船を売り込んだ時、あるいは明治初年に米の取引で利益をあげた時

には日本との取引は非常に儲かつたので、利益の点ではかなり大き

きな比重を占めたといつてよいでしょう。

**館長** アジアのなかでも、ジャーディン・マセソン商会はやはり大き

いですか。

石井 アジアでは最大だと思いま

す。アヘン戦争の時にはもう、印度から中国へのアヘンの貿易は

ジャーディン・マセソン商会とデ

ント商会が二分していいたといわれています。

マセソン商会のものだつたといわれています。

イギリス国内でも、マセソン商

会は、ロンドン金融市場でかなり有力なマーチャント・バンカーや、ライバルのデント商会が乗切れなかつたのに對して、ジャーディン・マセソン商会がなんとか乗切つた。一八六六年恐慌をといふのは、當時の記録をみますと、要するにマセソン商会の信用力でロンドンで金を調達して、それでジャーディン・マセソン商会のピンチを支えていたのです。

**館長** そのことと関連して、ジャーディン・マセソン商会はスコットランド系の商社ということです。

が、スコットランド商人といふのがどういう位置にあつたのかといふあたりのことを。

**石井**

イギリスから出ていった人たちは、スコットランド系の人が非常に多いんです、特にアジアに進出してきた商人になりますとね。

イギリスの歴史をみましても、スコットランドは政治的にイングランドに押さえこまれているのですが、経済的、技術的にみるとたいへんな力をもつていて、イギリスが世界最初の産業革命をやつたひとつは、スコットランドにありますといわれるほどです。それがこの経済力をもつて、いながら政治的には抑えられてしまっていると、いうことが外へ出していく大きな理由であつたと思いますね。ジャーディン・マセソン商会の一五〇年史

“THE THISTLE AND THE JADE” がこのほど刊行されま

ったようです。一八六六年恐慌をきたしたのに對して、ジャーディン・マセソン商会がなんとか乗切つた。一八六六年恐慌をといふのは、當時の記録をみますと、要するにマセソン商会の信用力でロンドンで金を調達して、それでジャーディン・マセソン商会のピンチを支えていたのです。

**館長**

そのことと関連して、ジャーディン・マセソン商会はスコット

ラント系の商社といふことです

が、スコットランド商人といふのがどういう位置にあつたのかといふあたりのことを。

**石井**

イギリスから出ていった人たちは、スコットランド系の人が非常に多いんです、特にアジアに進出してきた商人になりますとね。

イギリスの歴史をみましても、ス

コットランドは政治的にイングラ

ンドに押さえこまれているのですが、経済的、技術的にみるとたいへん

な力をもつていて、イギリスが世

界最初の産業革命をやつたひとつは、スコットランドにありますといわれるほどです。それがこの経済力をもつて、いながら政治的には抑えられてしまっていると、いうことが外へ出していく大きな理由であつたと思いますね。ジャーディン・マセソン商会の一五〇年史

“THE THISTLE AND THE JADE” がこのほど刊行されま

したが、“THISTLE”といふのはスコットランドの国花アザミで、“JADE”といふのは中国を意味するヒスイです。自分の会社をアザミとしているのは非常に象徴的大だと思います。やはり、自分たちはスコットランド人であるという事を心の底では意識していて、こういうところで示そうとしているわけですね。

**館長** 留学中にスコットランドを旅行されて、今でもそういう感じをもれましたか。

**石井** ただ景色を見ただけではわかりませんでしたが、旅行先で使ったスコットランド銀行券を残したスコットランド銀行券をイングランドにもつてくると必ずしも使えるとはかぎらないという事を知らされてびっくりしました。イングランド銀行券は、スコットランドでも問題なく使われているのです。

**W・ジャーディン** 最後に今後の研究課題に関する御示唆をいただければ。

**石井** ジャーディン・マセソン商会に関しては、二十世紀の資料はイギリス東インド会社の商船医師として印度に赴任し、船に独立して自由貿易業を営み、他方、J・マセソンは一七歳でカルカッタに行き、同地で叔父の經營する会社に勤めた。一八一八年、広東に移住し、そこでジャーディンと知りあうにいたる。

**W・ジャーディン** 一八四六年、同商会は広東・澳門・上海・廈門に支店をもうけ、五九年二月、長崎に寄航したのち、同年七月、横浜に進出したわけであるが、その立役者は、W・ケスイックの弟であるJ・J・ケスイックである。

**W・ケスイック** (一八三四) 年度に資本輸出という点でいえばそ

うでしよう。

**館長** どうも長時間にわたりありましたが

## プロファイル・ジャーディン・マセソン商会の人びと

パートナーとなり、横浜には生

るところで、ジャーディン・マセソン商会横浜店の生糸取引の

事務担当のJ・S・バーべーをと

りもなって来航した。ケスイック

とともに来浜したといわれる。

三河(愛知県)の出身で、開港

地買付の方式から横浜での生糸

売込問屋との取引形態にうつさ

せた人物が高須屋清兵衛である。

高須屋は、一八六五年に

いたり前貸の返済がどこでおつ

てついに同商会との関係はス

トップした。

ジャーディン・マセソン商会

から多額の前貸を受けつつ最大

級の生糸売込問屋にまでのしあ

がつた高須屋は、一八六五年に

いたり前貸の返済がどこでおつ

てついに同商会との関係はス

トップした。

吉田は一八七二年八月から五

〇ドルの月給を支給され、七六

年四月には八〇ドルに昇給して

いるが、七九年一二月限りでそ

の記載がおわっている(石井寛

治近代日本とイギリス資本)。

吉田健三(一八四九~一八八九)

は、のちの宰相吉田茂の養父と

して知られるが、その茂は子供

のころ、ジャーディン・マセソ

ン商会の敷地で遊んでいたとい

う(ジョン・ダワー「吉田茂と

その時代」上)。

(内)

## 読者投稿

### ブルームの通つた道子 中西道

「…」のキリン・ビール会社の思い出は、ノスタルジアと良心の呵責をかきたてるのです。

醸造工場自体は全く記憶にないのですが、あの広大な敷地と何千本のビール瓶の山々をどうして忘れる事が出来るでしよう。空瓶は道にそつた高い柵の後にうず高く積まれていました。私は学校への往復に約六年間毎日四回この道を通つたのです。そして必ずその都度、つまり一日四回六年近く少くとも一個の石をこの空瓶めがけて投げつけ、割れる音がすると一目散に逃げ出したものです。」

一九六一年、ポール・C・ブルーム氏が日本アジア協会で行つたスピーチ\*の一部であるが、当時住んでおられた山手二四一番地のお宅からセント・ジョセフ（山手八番地）に通うのにどうして今のバス道路（山手本通り）でなくビル工場（一二三番）脇を通られたのか不思議に思つていた。

『ビールと文明開化の横浜』展と北方小学校校庭内でビール工場地下貯水槽が発見されたのを機に、八月の炎天下、横浜開港資料館のH・I両氏とブルーム氏の通学跡

セント・ジョセフの坂（南坂）を降りると当時の道は北方小学校校庭の真中を横切る（だからバス道路＝山手本通りより近い）。左に

折れて二六五番にそつて右に曲つて谷間の道（弓町と畠町の間の道）を突当たり、斜め左の旧アメリカ領事邸（四五番、ヘボン夫妻在住跡）に達すれば、三軒先の山手本通り（谷戸坂通り）に接する角が二四一番のブルーム邸である。折り返して帰りは、領事邸跡を右に折れ、一〇五番の林邸、中西悟堂邸前の坂（弓町）を下りてきてアッと思つた。視野が開けると北方小学校の裏門近くにビール瓶の山積が見える筈ではないか。「…」だ！と私は思った。

ポール少年は朝家を出る。この坂をかけ下りると空瓶の山が眼前にひろがる。男の子なら一発的中の意欲にかられるのは無理もない。小石を拾つて力一杯投球。ビーン、ガシャン！ 痛快な反応を聞きながら現校庭内の細道を走つてセント・ジョセフの坂をかけのぼる。

お昼に家に帰るポール少年は再び右手の空瓶の誘惑に応える。小石を拾つてビーン、ガシャン！ 今

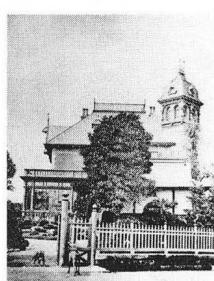
度は坂より手前を右に逃げるに違いない。しかしそれにもまして樂しい思い出は付近にたくさんある。らかなのだ。この曲り角には赤い涎れかけをしたお地蔵さんが立つていた。時々花やお線香もあがつていた。実は近くで生まれ育つた私にもこの辺は行動範囲圏であったのだ。

往年の温厚優雅な「伯爵」のイメージの漂うブルーム氏が横浜開港資料館を膨大な愛蔵書の「領地」に定められ、その古書に触れる毎に思い出すのは、氏の面影と類稀な美しい英語であるが、この道で浮ぶのは髪を風に靡かして走るブレザ姿の可愛いいたずら坊主である。

ポール少年がヨーロッパに去つて間もなく、ビール工場の池は貯水槽となつた。関東大震災で煉瓦造の醸造工場は完全に崩壊した。工場跡は草叢と化し、貯水槽の水際に集る巨大な「オーヤマ」を追つて来る少年達の恰好の遊び場となつた。しかし翌年の夏一人のトンボ採りの少年が貯水槽の三米四方程の口に落ちて大騒ぎとなつた。深さ七メートルの巨大な槽に救急車も消防車も如何とも出来ず、やがて二人の潛水夫が死体を引きあげた。完成したのは大正一五年だった。

現北方小学校一期卒業の木宮義信氏にはトンボ採り事件が忘れら

\* Paul C. BLUM "Yokohama in 1872" The Asiatic Society of Japan, Tokyo, 1963 P.34



山手241番 ブルーム邸

# 資料よもやまばなし ある没落士族の手紙

## 幕臣酒依昌長の一生

ここに紹介する手紙は、酒依昌

長という没落士族が書いたもので  
ある。彼は幕府直參旗本の家に生

まれたが、江戸幕府の崩壊が彼の  
人生を大きく変えた。没落の直接

のきっかけは、慶応四(一八六八)  
年五月四日に、新政府が徳川家を

静岡に移封したことであった。こ  
こにおいて、中央政府たる幕府は

完全に崩壊し、徳川家は数多い大  
名の一つとなつた。この時、多く

の幕臣たちが職を失つたといわれ、  
その中に酒依昌長も含まれていた。

年号も明治と変わった二月に、  
昌長は住みなれた江戸飯田町の屋

敷を離れ、酒依家が代々支配して  
いた武藏国橋樹郡下菅田村(現在  
神奈川区)の名主鈴木家に身を寄せ

ることになつた。しかし、殿様  
の地位を失つた昌長にとって名主  
の家は居心地の良いものであるは  
ずもなく、ほどなくして昌長一家  
は下菅田村を出ることになる。

その後の一家の動向を知ること  
のできる手紙が、名主家の子孫に  
あたる鈴木登久治氏(神奈川区菅  
田町)のお宅に残されている。

この手紙は、明治二三(一八八〇)  
年に、昌長が名主の鈴木家に近況  
を知らせたものであり、没落

士族の姿をよく表わしている。こ  
のような手紙は大変珍しいもので  
あり、やや長文ではあるが原文の  
まま紹介しておきたい。

「扱々困窮相成り候義、深く  
御察被下難有存候、実二日々増疲

弊ニ相成当惑至極ニ存候、就ては  
又々愚智の様成事申入候得共、當  
今之處朝夕入用の品々調兼候次第

にて深勘考致候處、御承知の通り  
多勢の家族共頭ヲ並べ居候ては日  
々増差支候計にて当令の處如何致

候哉と当惑の至り存候、就ては妻  
とも種々相談致候處、外ニ仕方も  
無之間、弥不遠内隱居致、兩人に  
て東京へ出、人々のかせき致より

外仕方無之と存候、隠居致矢張當  
地三居候ては跡譲り候弥八郎も同  
様ニ活計相立不申、兩人も減し候

ハゝ少々ハ活計の足合ニも相成存  
候、東京へ出、妻事ハ吉原卯へ入  
レ仕事為致候ハゝ、傭人丈ケの活計

ハ可相立ト存候、尤右様相成候上  
ハ改心致如何様成業成共相叶候業  
ハ可致心得ニ御座候。(中略)只今

の處ハ扶持米ハ少々も余分無之、  
其外は皆持出し相成、兼て申入候

通り普請并両人縁付候物入にて諸  
道具・衣類迄も荒方壳拂、最早壳

候品無之、此上壳拂候得は朝夕の  
近況を知らせたものであり、没落

士族の姿をよく表わしている。こ  
のような手紙は大変珍しいもので  
あり、やや長文ではあるが原文の  
まま紹介しておきたい。

用事足不申次第、實当惑共(何共申  
様無之、深御察可被下候、妻杯ハ  
糸ヲ取候得共、漸々湯銭位にて何  
の足合ニも相成不申、(中略)拙者  
義も申候、なるべくは貴賤御宅  
の油小売の番人に成共御仕被下候  
様御頼申度、併是迄も一と通不成  
重々御世話に相成居候處、又々右  
様の義御頼申、定て自假の事ばか  
り申候と御立服の程、何共申様無  
之候」

手紙には、売却できるものは既  
に売り払い、米もほんどないこ  
と、妻は糸を取る内職をしている  
が家計の助けになるほどの収入が  
得られないことなどが面々と書か  
れている。

ここにおいて、昌長は口減らし  
のために妻と二人で家を出ること  
を決心したようである。さらに、  
家を出た後、妻には吉原で奉公さ  
せ、昌長自身は名主鈴木家が経営  
する油屋の番人になりたいと希望  
している。手紙に書かれているこ  
とが事実であるとするならば、昌  
長一家は窮乏の極に達していたと  
いえよう。

ともあれ、近代国家形成的過程  
で、新しいエリート集団が士族の  
中から生み出されるると同時に、  
昌長のような武士たちの歴史は静  
かに幕をおろした。

昌長が旧支配地の名主に手紙を

出した明治二三(一八八〇)年に、

最後の将軍であった徳川慶喜は、

明治政府より正二位に復すること

を達せられた。旧主君の名譽回復

したものは何であつたろうか。(西)

## &lt;道路屋&gt;

## デービス

明治初年の横浜は、鉄の橋、下水道、電信、鉄道、ガス等、いわゆるパブリック・ワークが一齊に着手され、各所で土が掘り返され足の踏み場もないといった状態であったからと想像される。掘り返しの後は、当然のことながら順序として道路の整備ということになり、ここに、デービスなる人物が「道路屋」として登場していくこととなる。

トマス・デービス(THOMAS DAVIS)が、「外国人居留地道路修造方」あるいは「外国人居留地道路下水修造差配方」として神奈川県のお雇いとなるのは、明治二年(一八七〇)年七月一九日のこと。当時の情況からすると、一八六九年三月、ブラントン(R. H. BRUNTON)が立案した「横浜の下水、道路整備計画(SCHEME FOR THE DRAINAGE, AND IMPROVEMENT OF THE ROADS OF YOKOHAMA)」の実施監督にあたったものと推定される。ブラントンの計画どおりに実施されたとすれば、デービス

は、日本におけるマカダム道路——スコットランド人マカダム(J. L. McADAM)の発明による砕石舗装で、現代のアスファルトやコンクリート舗装の出現まで欧米において支配的であった道路構造として知られる——の先駆者として土木史上にその名を記しておかなければならぬ存在である。

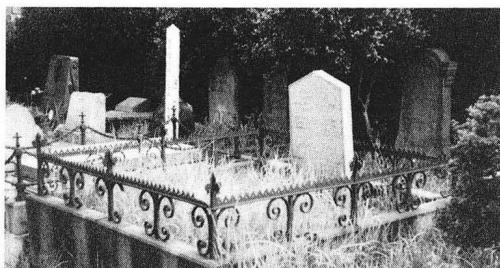
しかし、デービスの活動を伝える資料は少ない。明治六年(一八七三)年野毛坂の切り下げ工事を担当したこと、明治九年(一八七六年)頃、旧埋立居留地の下水道工事を監督したこと、あるいは、横浜消防火組(Yokohama Fire Brigade)の技術監督として活躍し、同時に日本人の消防マンを育てたことなどが知られているにすぎない。

また消防に關係していた故か、関内居留地における道路散水にも寄与したことが當時の横浜発行の英字新聞から知ることができる。自費でくみあげポンプと散水馬車を購入し、賛助者を募つて事業にあたるというもの。もつともその散水事業は、資金集めが思うほ

どでなく、散水馬車の代替もままならず、数年にして行きづまつたようではあるが、いずれにしても、デービスは、横浜道路史において失すことのできない人物ではある。

明治一〇(一八七七)年七月一九日居留地六六番で逝去。享年三十九。ドレス・メーカーの墓分けとして知られる夫人(一八八八年九月)とともに山手の外人墓地に眠る。墓標には、「THE PATH OF

THE JUST IS AS THE SHINING LIGHT THAT SHINETHE MORE AND MORE UNTO THE PERFECT DAY. (正しい者は道は、夜明けの光のようだ、いやよ輝きを増して眞晝となる。)と聖書の一節が引用されている。(良)



デービスの墓(山手外人墓地、準鉄道記念物ジョン・インダランドの墓の隣にある)

開館記念の「ペリー提督」展以来、数ヵ月ごとに切りかえられる特別展示・企画展示は、ほとんど欠かさず見せてもらっているが、いつも感心させられる特別展示・企画展示は、ほんとうに欠かさず見せてもらつて、この高い水準を将来失すことのできない人物ではある。

明治一〇(一八七七)年七月一九日居留地六六番で逝去。享年三十九。ドレス・メーカーの墓分けとして知られる夫人(一八八八年九月)とともに山手の外人墓地に眠る。墓標には、「THE PATH OF THE JUST IS AS THE SHINING LIGHT THAT SHINETHE MORE AND MORE UNTO THE PERFECT DAY. (正しい者は道は、夜明けの光のようだ、いやよ輝きを増して眞晝となる。)と聖書の一節が引用されている。(良)

ところどころで気なるのは、特別展示企画展示の後始末である。館員諸氏の心血を注いだ努力のあとに残るものが、展示の際にくられたパンフレットだけだとしたら、あまりにももつたない。ぜひとも記録として残してもらいたいのである。詳しいナレーションをつけてヴィデオに撮つておいてはどうだろうか。それを閲覧室に常備し、また機会を見て外部で公開すれば、普及という点でも大きな意味を持つと思うのである。

最近のコマーシャルではないが、「充電しないと、しばしば『むぞ』」ということもある。長期的展望のもとに、館員が伸び伸びびと資料調査や研究に取組んでゆける体制づくりを、ぜひとも真剣に考へたい。ぜひとも記録として残してもらいたいのである。詳しいナレーションをつけてヴィデオに表で誌面の半分が占められるようになることを期待したい。



館としての「充電」の体制を

(東京大学文学部助教授)

高村直助

行 事 開 催 予 定

（日）13時30分～16時30分  
▼展示開催記念講演会 1／13  
展（2／2～4／24）／30 「ジョセフ・ヒコと海外新聞」

1 / 26 「東京墳地の居留地」石塚裕道(東京都立大教授)「大阪川口の居留地」西口忠(川口居留地研究会)スライド解説藤原恵洋(東京大大学院)於当館講堂 13

十年記念・ビールと文明開化の構  
浜』展 (8／1～10／30)  
▼展示開催記念講演会 9／29  
(土) 13時30分～16時30分 講堂 小  
木新造(上越教育大教授)「相沢の川」

行事開催結果(八月)~(一〇月)

君の都》を読む 5／19～2／16  
の土曜日全10回15時～16時30分、  
講師石井孝（津田塾大教授）開催  
中 詳細は、(101)21100内  
30までお問い合わせください。

（東大教授）「横浜居留地の外国商人館」当館講室250円  
▼講座 (1) 横浜市史講座後期「港におけるイギリス商社」石井寛治  
都比軽講座 10/27 「上海租界と横浜居留地」加藤祐三（横浜市大

時30分→16時30分  
一講座900円  
受講料 4,500円

今回の展示は、幕末から明治時代にかけての横浜貿易の様相と特質を、東アジアの近代史を動かし続けたイギリスの代表的商人であるジャーディン・マセソン商会を中心的に、居留地内の外国商館の活躍をとおして明らかにしようとするもので

わが国は  
関税自主権をもたないと  
下で、外国との取引は、  
留地の外国商館をとおして  
その主導権も外国側に握  
たため、当時の貿易は「  
易」とよばれていました

『外国商館と横浜  
（英一番館を中心に）』展  
(11/3  
~  
1/30)

ロンドンと香  
港から出陳す

杉山伸也（慶大助教）

教授)

す。

一方、ジヤーデイン＝マセソン

す。

表示は、大きく分けて(1)開港と

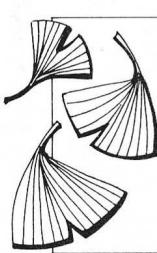
と意識を考えるきっかけになれば幸いです。

横浜は、貿易の発展とともに、今日の国際港都になつたことはいうまでもありませんが、開港から明治中期にかけては、安政の不平等条約

商会は、一八三二年、W・ジャー  
ディンとJ・マセソンの二人のフ  
コットランド人がマカオに設立し  
た商社で、中国を中心に、茶・生

展示は、大きく分けて(1)開港と  
外国商館、(2)ジャーディン・マセ  
ソン商会の活躍、から構成されて  
おり、油絵や文書類、輸出入商品

幸いです。  
~~~~~



(1)歴史写真「関東大震大火災記念  
号第2巻」(鈴木晁氏)  
(2)黒部寿家文書63点(黒部寿氏・  
寄託)  
(3)豊田文庫1650点(日本英学史学会  
寄託)